

タイ国移動式胎児心拍計導入による周産期死亡改善事業 (2018~2021年)

香川県発の遠隔医療技術で安心安全な出産を！

- **実施団体：**
遠隔医療支援プロジェクト実行委員会
- **対象国・地域：**
タイ国チェンマイ県全域
- **現地カウンターパート：**
チェンマイ県保健局



■ **協力内容：**
遠隔通信システムにより村落部の妊婦と中央病院を繋ぎ、胎児の心拍等をリアルタイムで診断できる機材を配布するとともに、適切な妊婦検診、救急車内からのデータ送信、システム運用の担当者育成を行う。

- **団体のこれまでの取り組み、背景：**
 - ・ 離島や山間地が多い香川県は、地域間医療格差を克服する遠隔医療技術を長年推進し、特に母子保健を大きく改善
 - ・ その経験を海外に伝えるため、香川県、技術開発元の香川大学や製品開発元のメロディインターナショナル社等が産官学連携し、JICA草の根技術協力事業を実施。産科医のいない地域病院と中央病院産婦人科を繋ぐ健診システムを導入（2014-2017）
 - ・ 成果が高く評価され県全域へシステム拡大（2018-2021）

タイ国の課題と成果

課題

チェンマイ県において、産婦人科医のいない医療過疎地域が偏在し、周産期母子の健康管理が課題だった

成果

チェンマイ県25行政区全ての地域病院に加え、交通の便の悪い遠隔診療所5カ所にも移動式胎児心拍計を導入。妊婦検診受診率の増加、妊産婦救急搬送時の初動診療体制改善により周産期母子保健サービスが向上した。また、システム運用人材育成により、遠隔医療システム実施体制が整った。



事業の波及効果



地域特性を活かした技術の世界へ発信！

- ・ 遠隔医療先進地域である香川県における知見や経験を活かし、産官学連携で構成されたプロジェクトチームが海外へも技術発信。
- ・ 成果に関心を持った世界各国への製品供給を推進する他、ブータン王国での周産期医療技術協力プロジェクトが開始されることが決定。